



令和6年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

令和6年2月14日

上場会社名 ワイエスフード株式会社
コード番号 3358 URL <https://ys-food.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 光久

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 中村 行男

TEL 0947-32-7382

四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第3四半期の業績(令和5年4月1日～令和5年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|------------|-------|-----|------|---|------|---|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 6年3月期第3四半期 | 1,063 | 0.1 | 26 | | 57 | | 10 | 74.4 |
| 5年3月期第3四半期 | 1,061 | 8.5 | 37 | | 17 | | 56 | 189.0 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 6年3月期第3四半期 | 1.78 | 1.74 |
| 5年3月期第3四半期 | 9.25 | 9.20 |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 6年3月期第3四半期 | 1,977 | 1,472 | 74.1 |
| 5年3月期 | 2,585 | 1,435 | 55.3 |

(参考)自己資本 6年3月期第3四半期 1,466百万円 5年3月期 1,429百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 5年3月期 | | | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 6年3月期 | | | 0.00 | | |
| 6年3月期(予想) | | | | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|---|------|---|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 1,430 | 0.3 | 1 | | 11 | | 3 | 91.1 | 0.51 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|---------|-------------|---------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 6年3月期3Q | 6,129,200 株 | 5年3月期 | 6,091,000 株 |
| 期末自己株式数 | 6年3月期3Q | 61 株 | 5年3月期 | 61 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 6年3月期3Q | 6,115,662 株 | 5年3月期3Q | 6,073,069 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| 第3四半期累計期間 | 5 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (会計方針の変更) | 6 |
| (追加情報) | 6 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| (重要な後発事象) | 8 |
| 3. その他 | 9 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大防止への取り組みやワクチン接種の普及等により行動規制が緩和され、インバウンド需要をはじめとする観光需要も回復し外食事業における明るい兆しは見受けられております。しかしながら国際情勢の不安定化による原材料・エネルギー価格の高騰により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、同業種はもとより他業種との競争激化、原材料価格及びエネルギー価格の高騰や継続的な採用難・パートアルバイトの時給の上昇により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社におきましては、「一杯のラーメンをお客様に満足していただく」という創業当時からの理念にのっとり、「美味しさと快適な食の空間」の追求、「食の安心・安全」の維持向上に取組み、お客様一人一人に誠実であり続けることに、より一層邁進してまいるとともに、固定客の獲得のための接客サービスとマーケティング戦略、商品開発の強化・充実に力を注ぎ、収益構造の改善及び強固な企業体質づくりを取組んでまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高1,063百万円（前年同期は売上高1,061百万円）、営業利益26百万円（前年同期は営業損失37百万円）、営業外損益におきましては、福岡県田川郡福智町より「ほうじょう温泉ふじ湯の里」指定管理者運営費の補助金13百万円及び損害保険金の入金16百万円があったことから経常利益57百万円（前年同期は経常損失17百万円）となりました。四半期純損益におきましては役員退職慰労引当金戻入益7百万円があったものの閉店店舗の固定資産除却損5百万円及び投資有価証券評価損51百万円があったことから、四半期純利益10百万円（前年同期は四半期純利益56百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。当社の事業につきましては、ラーメン店及びラーメン店のフランチャイズ・チェーン本部の経営を主とした「外食事業」、当社が所有する店舗用地等の不動産賃貸を主とした「不動産賃貸事業」、ラーメン等の製品を主要販売品目とした「外販事業」、「ほうじょう温泉ふじ湯の里」の運営をしております「温泉事業」を報告セグメントとしております。

(外食事業)

当第3四半期累計期間の売上高は933百万円（前年同期比0.4%増）となり、営業利益69百万円（前年同期比117.0%増）となりました。

店舗数の増減につきましては、直営店3店舗、FC店12店舗及び海外4店舗の閉店あったことから、前事業年度末に比べ19店舗減少し107店舗（直営店5店舗、FC店77店舗、海外25店舗）となりました。

(不動産賃貸事業)

当社が所有する店舗用地等の有効活用を目的とした賃貸事業を行っており、当第3四半期累計期間の売上高は25百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益3百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

(外販事業)

当社は、ラーメン等の製品を主要販売品目とする外販に加え、インターネット通販サイトにおける通信販売及び一般小売先向け卸し、委託販売による小売りを行っております。

当第3四半期累計期間における外販事業の売上高は29百万円（前年同期比10.5%減）となり、営業損失7百万円（前年同期は営業損失8百万円）となりました。

(温泉事業)

当社は、令和2年6月より、福岡県田川郡福智町「ほうじょう温泉ふじ湯の里」の指定管理者となり、同施設の経営を行っております。

当第3四半期累計期間における温泉事業の売上高は73百万円（前年同期比8.1%増）となり、営業損失0百万円（前年同期は営業損失11百万円）となりました。

(その他)

当社は、FC加盟店などに飲食店用の厨房設備の販売を行っております。

当第3四半期累計期間におけるその他事業の売上高は2百万円（前年同期比31.0%減）となり、営業利益0百万円（前年同期比49.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ528百万円減少し410百万円となりました。

これは主に借入金の特約返済を行ったことにより現金及び預金が563百万円減少したこと等によるものであります。

一方、固定資産につきましては、前事業年度末に比べ79百万円減少し1,566百万円となりました。これは主に閉店店舗の建物等の除却による減少25百万円、投資有価証券が36百万円減少及び保険積立金が9百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は1,977百万円となり、前事業年度末に比べ607百万円の減少となりました。

(負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ521百万円減少し261百万円となりました。

これは主に、取引金融機関との間で、返済条件の緩和(支払余力に応じたプロラタ返済)を締結しておりましたが全額返済を行った為1年内返済予定の長期借入金が365百万円、短期借入金が100百万円減少、未払法人税等が14百万円減少及び未払消費税等が32百万円減少したこと等によるものであります。

一方、固定負債につきましては、長期借入金の減少の理由から前事業年度末に比べ123百万円減少し242百万円となりました。

この結果、負債合計は504百万円となり、前事業年度末に比べ644百万円の減少となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,472百万円となり、前事業年度末に比べ37百万円増加いたしました。これは主に、新株予約権の行使により資本金が5百万円増加、その他有価証券評価差額金が15百万円増加及び四半期純利益が10百万円あったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は74.1%(前事業年度末は55.3%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、令和5年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (令和5年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (令和5年12月31日) |
|---------------|----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 709,492 | 145,660 |
| 売掛金 | 159,729 | 165,819 |
| 商品及び製品 | 60,832 | 78,182 |
| 仕掛品 | 1,728 | 839 |
| 原材料及び貯蔵品 | 16,074 | 19,172 |
| その他 | 42,639 | 47,908 |
| 貸倒引当金 | △51,699 | △47,085 |
| 流動資産合計 | 938,797 | 410,497 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 392,579 | 360,608 |
| 土地 | 1,017,888 | 1,017,888 |
| その他 | 28,169 | 35,581 |
| 有形固定資産合計 | 1,438,637 | 1,414,078 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | 2,281 | 9,601 |
| 長期貸付金 | 292,671 | 314,831 |
| その他 | 297,499 | 215,075 |
| 貸倒引当金 | △384,701 | △386,628 |
| 投資その他の資産合計 | 205,469 | 143,279 |
| 固定資産合計 | 1,646,387 | 1,566,959 |
| 資産合計 | 2,585,185 | 1,977,456 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 68,538 | 92,377 |
| 短期借入金 | 100,000 | — |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 365,502 | — |
| 未払法人税等 | 19,169 | 4,266 |
| 契約負債 | 184 | 148 |
| その他 | 230,191 | 165,021 |
| 流動負債合計 | 783,586 | 261,814 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 125,796 | — |
| 退職給付引当金 | 55,772 | 56,686 |
| 役員退職慰労引当金 | 38,142 | 31,134 |
| 資産除去債務 | 64,870 | 65,611 |
| その他 | 81,237 | 89,380 |
| 固定負債合計 | 365,818 | 242,812 |
| 負債合計 | 1,149,404 | 504,627 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,356,453 | 1,361,552 |
| 資本剰余金 | 833,991 | 839,091 |
| 利益剰余金 | △760,047 | △749,104 |
| 自己株式 | △18 | △18 |
| 株主資本合計 | 1,430,378 | 1,451,520 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △509 | 14,537 |
| 評価・換算差額等合計 | △509 | 14,537 |
| 新株予約権 | 5,912 | 6,771 |
| 純資産合計 | 1,435,781 | 1,472,829 |
| 負債純資産合計 | 2,585,185 | 1,977,456 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日) |
|---------------|--|--|
| 売上高 | 1,061,931 | 1,063,899 |
| 売上原価 | 528,588 | 536,056 |
| 売上総利益 | 533,342 | 527,842 |
| 販売費及び一般管理費 | 570,769 | 501,590 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △37,426 | 26,252 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 793 | 418 |
| 受取配当金 | 0 | 0 |
| 助成金収入 | 9,558 | — |
| 受取保険金 | — | 16,780 |
| 補助金収入 | 10,439 | 13,143 |
| その他 | 6,213 | 5,205 |
| 営業外収益合計 | 27,005 | 35,548 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,741 | 1,398 |
| 貸倒引当金繰入額 | △1,961 | 2,238 |
| 違約金 | 1,511 | 135 |
| 災害修繕費 | 2,597 | — |
| その他 | 59 | 84 |
| 営業外費用合計 | 6,950 | 3,855 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △17,371 | 57,945 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 83,745 | 4,363 |
| 資産除去債務戻入益 | 2,950 | 6,141 |
| 役員退職慰労引当金戻入額 | — | 7,008 |
| その他 | 216 | — |
| 特別利益合計 | 86,911 | 17,513 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 746 | 5,591 |
| 投資有価証券評価損 | 928 | 51,150 |
| その他 | — | 1,384 |
| 特別損失合計 | 1,674 | 58,125 |
| 税引前四半期純利益 | 67,865 | 17,332 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 11,643 | 6,389 |
| 法人税等合計 | 11,643 | 6,389 |
| 四半期純利益 | 56,222 | 10,942 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期損益計算書)

前第3四半期累計期間において、「特別利益」の「その他」に含めておりました「資産除去債務戻入益」は、当第3四半期累計期間に金額的重要性が増したため、区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期累計期間の四半期財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書において、「特別利益」の「その他」に表示していた3,166千円は、「資産除去債務戻入益」2,950千円及び「その他」216千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自令和4年4月1日 至令和4年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期 損益計算書 計上額 (注)3 |
|----------------------|---------|-------------|--------|---------|--------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------------------------|
| | 外食事業 | 不動産 賃貸事業 | 外販事業 | 温泉事業 | 衛生事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 928,829 | 26,063 | 33,362 | 67,619 | 2,503 | 1,058,378 | 3,553 | 1,061,931 | — | 1,061,931 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 928,829 | 26,063 | 33,362 | 67,619 | 2,503 | 1,058,378 | 3,553 | 1,061,931 | — | 1,061,931 |
| セグメント利益又は損失(△) | 36,231 | 2,932 | △8,715 | △11,564 | △6,083 | 12,800 | 667 | 13,468 | △50,895 | △37,426 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△50,895千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自令和5年4月1日 至令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期 損益計算書 計上額 (注)3 |
|----------------------|---------|-------------|--------|--------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------------------------|
| | 外食事業 | 不動産 賃貸事業 | 外販事業 | 温泉事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| (1)外部顧客に対する売上高 | 933,084 | 25,420 | 29,846 | 73,100 | 1,061,451 | 2,448 | 1,063,899 | — | 1,063,899 |
| (2)セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 933,084 | 25,420 | 29,846 | 73,100 | 1,061,451 | 2,448 | 1,063,899 | — | 1,063,899 |
| セグメント利益又は損失(△) | 69,717 | 3,372 | △7,087 | △286 | 65,715 | 334 | 66,050 | △39,797 | 26,252 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食店用の厨房設備の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△39,797千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期累計期間より、「衛生事業」のセグメント区分を廃止しております。これは、前第4四半期会計期間において、衛生事業から撤退したことによるものであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。